

報道発表資料

令和3年11月10日

港湾空港局空港企画部空港企画課

令和3年11月15日

北九州空港を利用した人工衛星の輸入が実現！
～ボルガ・ドニエプル航空の超大型輸送機「アントノフ AN-124-100」で輸送～

このたび、北九州空港を利用した人工衛星の輸入が、ボルガ・ドニエプル航空の超大型輸送機「アントノフ AN-124-100」による輸送で実現します。海上空港の特長を活かし、シーアンドエア輸送により、人工衛星は空港島の護岸から内航船で種子島まで運ばれます。

当機の運航により、「九州・西中国の物流拠点空港」を目指す北九州空港にとって、よりいっそうの集貨と空港機能拡張への大きな飛躍となることが期待されます。

つきましては、取材希望の方は、別紙の取材申込書を11月15日(月)午前中までにご提出ください。

記

- 1 運航日 2021年11月17日(水)北九州空港到着 午前1時
2021年11月17日(水)北九州空港出発 午後3時
(早着・遅延の可能性あり)※出発地はフランス・トゥールーズ空港
- 2 関係企業 ①インマルサット社：グローバルな衛星移動体通信を提供するリーディング企業
参考URL：http://www.inmarsat.com http://www.inmarsat.com/i6f1
②エアバス・ディフェンス・アンド・スペース社：人工衛星を製造したフランス企業
③三菱重工株式会社：ロケットによる衛星打上げ輸送サービス事業者
- 3 運航機材 ボルガ・ドニエプル航空の「アントノフ AN-124-100」
(旧ソビエト連邦が開発し量産された機体としては世界最大の輸送機)
- 4 貨物情報 人工衛星を搭載した特殊コンテナ等を含む約47トン
- 5 輸送方法 シーアンドエア輸送
北九州空港着⇒護岸まで陸上輸送⇒内航船による海上輸送⇒種子島着
- 6 その他 当機の北九州空港への飛来は、平成30年6月以来5回目

<取材について>

- 取材時間 11月17日(水)6:10~7:30
(※当日の作業状況により終了時間の変更あり)
- 集合時間 午前6時00分
- 集合場所 別紙参照
- 撮影場所 90番スポット西側エリア(約30分)
旅客ターミナルビル屋上(約30分)
※90番スポット西側エリアから旅客ターミナルビルへの移動は空港企画課の職員が誘導致します。

【問い合わせ先】
港湾空港局空港企画課(担当：高岡、浦、今村)
TEL：093-582-2308 / FAX：093-582-0181

北九州空港を利用した人工衛星の輸入について
<運航日変更のお知らせ>

令和3年11月10日に発表しました

「北九州空港を利用した人工衛星の輸入」につきまして、
運航日が変更(後ろ倒し)となりますのでお知らせいたします。

なお、変更後の運航日につきましては、確認後、
明日(16日)を目途に、改めてお知らせいたします。

〈運航日の変更〉
現在確認中

【問い合わせ先】
港湾空港局空港企画課(担当：高岡、浦、今村)
TEL：093-582-2308 / FAX：093-582-0181